



曳舟幼稚園だより

— 9月号 —

令和4年9月1日
墨田区立曳舟幼稚園
園長 吉岡 大司

「子どもは、大人の背中を見つめて育つ」

園長 吉岡 大司

コロナウイルス感染症感染者増加傾向に、中々気の休まる日がない毎日です。そして、今年の夏も暑さが厳しく、大人にとっては「暑い」と思わず口から出てくる毎日でした。でも子ども達は、暑さなんて平気で、プールや水遊び、感触遊びなど夏ならではの遊びを十分楽しむことができたのではないのでしょうか。これから徐々に秋を感じられるようになりますが、季節の変わり目は、気候や気温の急激な変化に惑わされ、体調を崩しやすくなります。睡眠や食事を十分にとり、園児達と元気いっばいに過ごしていきたいと思います。そして、これまで以上に保護者の方々との連携を深め、小さな一歩を見逃さず、一人一人のお子さんの健やかな成長を見守っていききたいとも考えています。

ここで、作家向田邦子氏の父親のことが紹介されていた新聞記事を紹介します。戦争末期、妹を学童疎開に出した思い出を向田邦子さんが次のように書いていました。「まだ字のおぼつかない妹に、父親は自分の宛名を書いたはがきをたくさん持たせ、『元気な時は大きいマルを書いて毎日出すように』と言いつけた。初めは大きなマルが届いた。だが次第に小さくなって、いつしかバツに変わった。いたいけな印を、父親は黙りこくって見つめていたようだ。(中略)妹は疎開先で病気になった。やっと帰ってきたとき、父親は裸足で玄関を飛び出し、抱きしめて泣いたようだ。」という話です。この話には、親子の関係を考える上での大切な何かが内包されているような気がしました。どんなに時代が進み、置かれている状況が変わろうとも、親子や家族の愛は変わらないと確信しています。ただ、最近の子どもに対する虐待や育児放棄等の報道に接すると、その思いが揺らぐこともあります。子ども達の健やかな成長に一番必要なものは、親子の絆でありそれを支える周囲の方々の直接・間接の温かいサポートであるということはあるかもしれません。確かに子育ては思い通りにいかないことも多く、楽しいばかりではありません。しかし、子どもの成長していく姿を一番身近で体感できることは、何物にも代えがたい貴重な経験だと思います。子どもは、自分に寄り添い、真正面から対応してくれる人を信頼し、尊敬します。私の両親は、10年前に他界していますが、今でも、そんな亡き両親に感謝しています。子どもは、自分を心から信頼してくれる人が一人でもいると、強く・逞しく成長していきます。私たち親や教師がその一人にならなければならないと考えます。子ども達は、その背中を見つめて育っていくのです。

さて、今日より、子ども達の夏休み明けの幼稚園での生活がスタートします。園児達が元気な笑顔を見せ、夏休みに頑張ったお手伝いや思い出話を自慢そうに話している姿をみると「楽しい夏休み」を過ごせたのかなと感じました。私達教職員の夏休みも子ども達の顔を思い浮かべながら、様々な研修に出かけ、子ども達との生活が充実した日々になるよう計画を立て、子ども達との再会を楽しみにしていました。また、この秋は、親子運動会やふれあい動物園、どんぐり遠足、ジャイアンツチア体験、芋掘り遠足、遊園地遠足、小学校の演劇教室や体育発表会参加など行事が盛りだくさんです。

コロナ禍ではありますが、園児達が「思わず心が動くものや人との出会い」「繰り返し遊んだり、挑戦したりする」ことができる環境を大切に、多様な体験の積み重ねができるように、熱中症への危機管理とともに、感染防止対策を徹底し、教職員一同で取り組んでまいります。

9月生まれのお友達 お誕生日おめでとう



下記のQRコードより幼稚園の
ホームページをご覧ください





9月の幼稚園生活

ゆり組

【ねらい】

- 夏から秋への自然の変化や自然物に興味をもち、関心を深める。
- 友達に考えやイメージを言葉で伝えたり、友達の考えを受け止めたりしながら遊びや活動に取り組み、一緒に進める楽しさを味わう。
- 友達と力を合わせたり競ったりしながら体を動かして遊ぶことを楽しむ。

いよいよ9月の始まりです。夏休みはどのように過ごされたでしょうか。夏休み中、トンボを校庭で見掛ける機会が多く、今、子供たちがいたら一緒にトンボを捕まえているのになあと考えていました。夏休みを終え、本日、元気な子供たちに会えてとてもうれしいです。

9月はプラネタリウム見学やドングリ拾い遠足に出掛けます。園庭の自然物の種取りや虫探しをはじめ、「中秋の名月」から月の満ち欠けに関心をもったり、拾ってきたドングリを遊びに取り入れたりできるように援助していきます。

遊びでは、子供たちが夏休みに体験したことなどを、遊びの中に取り入れる姿があるのではないかと考えています。自分のイメージしていることを、友達に言葉で伝えたり、友達の話を受け止めたりして遊べるように支えていきたいと思います。

今月は親子運動会もあります。7月から少しずつ学級で相談する時間をとっていましたが、運動会という共通の目的に向かって、学級の皆や同じ系の友達と話し合っって考えを言葉で出し合い、皆で運動会をつくり上げていきたいと思っています。自分の力を発揮し、友達と力を合わせたり競い合ったりして、思い切り体を動かすことの楽しさを感じられるようにしていきます。また、皆で気持ちを一つにしながら練習をして、粘り強く取り組むことの大切さ、皆でやり遂げた達成感を味わえるように援助していきたいと考えています。

安全指導（今月のねらい）

交通安全

- ・安全な登降園の仕方を再確認する。
(保護者と手をつなぐ、信号の見方や横断の仕方など)

生活安全

- ・遊び方や遊具、用具の扱いの約束を思い出し、守って遊ぶ。

健康安全

- ・健康や衛生についての約束を思い出し、守って生活する。(手洗いの仕方等)

※残暑が厳しくまだ暑い日が続きます。

暑さ対策をする、弁当作りについて気を付ける等のご配慮をお願いします。

避難訓練（今月のねらい）

- ・災害時の避難の仕方が分かり行動する。
- ・落ち着いてお迎えを待ち、速やかに降園する。